

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月5日 (2012.1.5)

【公表番号】特表2011-503137(P2011-503137A)

【公表日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-533548(P2010-533548)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/79 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

A 2 3 L 1/305 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 14/79 Z N A

C 0 7 K 7/08

A 2 3 L 1/305

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月9日 (2011.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】

請求項 1～14の何れか一項に記載のペプチド、その断片、および機能上均等なホモログおよびアナログの微生物に対する抗微生物効果をインビトロで試験するための方法であって、以下を含む方法：

インビトロで前記物質を前記微生物に投与してインキュベーションすることと；
前記微生物の生存数を計数すること。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 2】

請求項 2 1 に記載の方法であって、前記微生物が細菌、ウイルス、および真菌からなる群から選択される方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 3】

請求項 1～14の何れか一項に記載のペプチド，その断片，および機能上均等なホモログおよびアナログの抗炎症効果をインビトロで試験するための方法であって、以下を含む方法：

インビトロで前記物質を細胞に投与してインキュベーションすることと；

前記細胞のサイトカイン産生に関して分析すること。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 4】

請求項 2 3 に記載の方法であって、前記サイトカインが腫瘍壊死因子- (TNF-)，インターロイキン-1 (IL-1)，インターロイキン-6 (IL-6)，インターロイキン-8 (IL-8)，およびコロニー刺激因子(CSFs) からなる群から選択される方法。